

マルメ研修を終えて

グリーンヒルズ・デンタルクリニック

歯科衛生士 佐藤千恵

日頃から日吉歯科診療所へよく教えを頂に足を運ぶことが多いのですが、スウェーデンの医療哲学という言葉をよく耳にします。患者利益の真のエンドポイントはどこなのか？今回の研修に参加させていただくことでスウェーデンの歯科哲学に直に触れてみたい。これからの診療に生かしていきたいという思いが自分自身にありました。

歯科医療が国の政府を動かしているという事実にただただ驚かされました。日本では正直政府主体で医療制度が動かされているという大きな違いがあります。これから私たちが日本で何をしていくべきかが明確になった気がしました。

その為には日々のデータがものすごく重要であるということが講義を通じて教えていただきました。

治療中心の日本の歯科医療ではデータの重要性自体が考えてこられなかった。私たちがこれから日本の歯科医療を変えていくというのはあまりに大きく難しいことではありますが地道にそれぞれMTMを行っている診療所から発信していければと思います。

また、19歳までの保険の医療制度が終わった後のリスクに応じたメンテナンスをぜひ日本でも取り入れていただきたいと心から願っています。今の日本の歯科保健制度だとローリスク者とハイリスク者に線引きはとてもあいまいで、術者側の主観や技量で大きく誤差が出てしまうというのが現状です。また、メンテナンスを保険と自費の混合診療で行ってしまうとローリスク者が返って損をしてしまうようなことにもなってしまいうことも考えられるからです。メンテナンスを自費で国民全員にとって平等な歯科医療を受けられるような体制が整ってくれることを願います。

また、ハンズオンがとても楽しみにしていた講義でした。

しっかりとエビデンスに沿ったSRPの考え方、手技に感動しました。片顎を1時間で行うということ。歯科衛生士のホームケアの指導がPMT Cよりも高額であるということ。歯科衛生士の仕事がなんたるかを改めて考えさせられました。

今回マルメ大学研修という機会を与えてくださったことにとても感謝しております。ダン先生はじめ先生方、日吉診療所のスタッフの方々、通訳していただいた方、オーラルケアの皆様にお礼の気持ちでいっぱいです。

ありがとうございました。また機会があれば参加したいと思います。